

## 258回例会 甲賀駅周辺のタンポポの観察

〈開催日時〉 2017年4月16日(日)  
 〈集合場所〉 JR甲賀駅 9:30  
 〈参加者〉 多田・上田担当幹事及び「滋賀県タンポポ調査のメンバー」28名

今回の例会は、「滋賀県のタンポポ調査実行委員会」と共同開催で実施しました。甲賀駅周辺では、シロバナタンポポが観察できると気軽に参加しましたが、違っていました。冒頭の鈴木先生からのお話や実地に観察を始めると、とんでもない認識の甘さを痛感させられました。駅を出た脇の空き地に既に見たこともないタンポポがたくさん咲いているのです。この地域は、タンポポ分布の境界区域であることも教えていただき天気にも恵まれ、楽しく勉強になった一日でした。この写真レポートは、従来の観察順ではなく、タンポポの種類でまとめました

【シロバナタンポポ】 甲賀地区では、駅の花壇、道端、野原など、どこでも普通に見られました  
 他のタンポポに比べると茎がスラッと背が高い



上がイガウスギタンポポ

【イガウスギタンポポ】 キビシロタンポポだが、この地区での特徴があり、今日は「イガウスギタンポポ」で統一  
 同じ場所で咲いている「シロバナタンポポ」と比べると背が低く、「キビシロタンポポ」よりは高い



典型的なキビシロタンポポ ?

【セイヨウタンポポ】 在来種との自然交配が少ないように思える。  
 「カンサイタンポポ」がほとんど見られなかった。右端の写真は鈴木先生が採取した「カンサイタンポポ」の標本



【ロクアイタンポポ】 大型のタンポポ

六甲アイランドで発見された「種」と聞きました。甲賀地区では所々で群生しており、どんなルートで繁殖したのでしょうか？



【タンポポ観察の合間に見た植物】  
キツタ

道端や田んぼの畦道で撮影  
ウスアカカタバミ

ツボミオオバコ



アリアケスミレ

ノジスミレ

ヒメスミレ



ハナモモ

モモ

花柄が長い スモモ



スカシタゴボウ

キュウリグサ

タネツクバナ



ノミノフスマ



ハハコグサ



コノテガシワ



トキワハゼ



マツバウンラン



オオニガナ



キショウブ



頭上をドクターヘリが



セイヨウキランソウ



村山和夫